

事業種類	主要な道路の整備		事業名	県単道路改築					
市町村名	中野市	ふりがな 箇所名	いち さみず なかの (一)三水中野線	あんげんじ 安源寺	事業年度 (完了年度は見込み)	26年度～	33年度		
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	道路拡幅工 L=460m W=6.0(9.75)m		450,000	国庫	その他	県債 405,000	一般財源 45,000	
	H26年度	物件調査、用地補償 1式		50,000			4,500	500	
箇所評価	区分	評価項目・指標等	評価区分		①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)		
	必要性	計画交通量	<input checked="" type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input type="checkbox"/> 1,500台以上～ 4,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満	10	0.3	24	
		代替道路	<input type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/> 代替となる道路がある		0			
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> 駅やICなどに通じる または 役場と交通 結節点や支所などを 結ぶ路線	<input type="checkbox"/> 左記に該当しない				15
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所 でない		10			
			<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路 ではない		20			
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	<input type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m 未満又は8%以上 (幅員、半径、勾配)	<input checked="" type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満 (幅員)		<input type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)			5
	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離を 図る		<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分 であるものを再整備		<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離が なされていない	20			
	小計					80		24	
	重要性	設計上の環境・景観配慮	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮が され現実性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮が されているが現実性 が低い		<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をして いない	30	0.1	6
地域の法的な位置付け		<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に 位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又 は、振興山村、積雪地 域、過疎地域、地震防 災対策強化地域、観光 圏整備実施計画認定地 域に位置付けられてい る		<input type="checkbox"/> 特別な位置づけは ない	30			
小計					60		6		
効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から 一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	25	0.2	12		
	事業効果の早期発現 (事業期間)	<input type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 6年以上	0				
	コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input type="checkbox"/> 部分的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。		<input type="checkbox"/> コスト削減はしていない			35	
小計					60		12		
緊急性	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所の安全を向 上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所指定はない が安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険がない	50	0.2	16		
	各事業特有の緊急性 (医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (円滑化が図れる)		<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に 関係ない道路			30	
小計					80		16		
計画 熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な 要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない		35	0.2	20	
	事業情報の共有	<input checked="" type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない		35			
	住民参加の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 住民が計画策定に 直接参加	<input type="checkbox"/> 住民や市町村の意見 を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映 していない		30			
小計					100		20		
費用対効果(B/C)		1.5	評価の合計				78		
事業 周辺 環境	事業実施に至る歴史 的経緯・社会的背景	本線は、旧豊田村から中野市街地へ通じる唯一の幹線であり、大型車等の交通量が多い。しかし、幅員が狭小であり、高丘小学校や平野中学校の通学路の一部であるため、特に朝夕の通勤や通学時間帯は児童や生徒が危険にさらされている。また本事業は、平成18年にPI方式により概略設計を行い、ルートについては地権者からの概ね同意を得ている。							
	地域からの要望経緯	H17から一般県道三水中野改良促進期成同盟会より要望・提言あり。H18.2～H19.12 PIによるルート検討							
	事業説明等の経緯	H18.10.31 沿線住民に地元説明会実施 H19.9.26 歩道委員会に概略ルート説明 H18.2～H19.12 PIによるルート検討 H23.12.7 地権者説明会で線形について合意を得る。 H25.10.16 地権者説明会で詳細設計、次の段階(用地測量)に入ることについて合意を得る。							
	環境・景観への配慮 項目	土羽部分については法面を緑化することにより、沿道周辺の緑化を図る。							
	他事業・プロジェクトと の関連	道路改良事業 (一)三水中野線 中野市 上今井～栗林							
	特記事項	事業化前から沿道住民に説明会を実施し、PI方式による検討を進めており、地元身近な公共事業として積極的に関与していただいている。こうした関わりにより、今後の維持管理に関しても地元の協力体制を作ることができる。							
地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明					
部意見	必要性、緊急性ともに高く、通学路および生活道路としての安全かつ円滑な通行を確保する必要があるため、平成26年度から事業化したい。		行政改革課 意見	必要性、緊急性が認められる。					